

発行にあたって

本資料集は、前集に続き、『法学新報』から中央大学関係記事を抜粋・編集したものです。本資料集が対象としたのは、一九二一（大正一〇）年四月～翌二二年三月までの間に発行された『法学新報』の第三一巻四号～第三二巻三号までで、そこから六〇件余の記事を収録しました。

一九二〇年四月に、中央大学は、それまでの専門学校から大学に昇格を果たしました。本資料集で扱うこの時期は中央大学が大学としての新たな歩みを始めたころにあたります。本資料集に載せられている経済学会、経済同攻会、学生大懇親会、都下連合大勇弁会、商学会大講演会などの学生の活発な活動を伝える記事からは、そのようなもとの学生の高揚した息吹を感じ取れるように思われます。

また、中央大学が大学に昇格にするに必要な基金の募金結果が本資料集に載せられていますが、大学として順調に発足できたのは多くの学員の方のご厚意によるものだということがこれからよくわかります。改めてお礼申し上げます。

この年政治学会が創立されましたが、その際の法制局長官横田千之助の記念講演「漫録・政治と真剣味」は、ワシントン会議に筆頭随員として臨む横田の政治観と対米認識を知ることができる貴重な資料といえます。

本資料集が多くの方に活用されることを切に願っています。

二〇一一年三月

中央大学史料委員会専門委員会主査

本 間 修 平